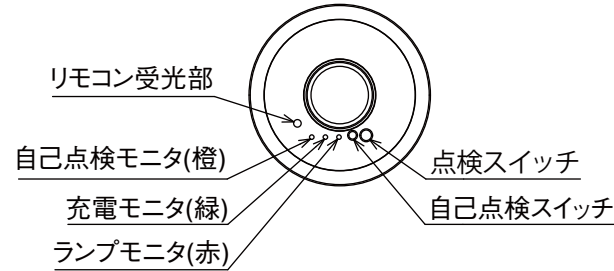


自己点検機能の使用法

自己点検機能を使用する前に以下の項目を確認してください。

- 48 時間以上連続充電をしている。(点検スイッチを押したり、停電等で電源が遮断されてしまった場合は自己点検に移行しません。)
 - 充電モニタが点灯している。(蓄電池が正常に接続・充電されている。)
 - ランプモニタが消灯している。(ランプが正常状態である。)
- 上記項目を満足していない場合は、自己点検スイッチを操作しても自己点検機能に移行しません。



自己点検スイッチ: 3 秒長押しで自己点検を開始します。
点検スイッチ: スwitchを押している間、非常点灯に切り替えます。
自己点検モニタ: 自己点検中である事、点検可能・不可をお知らせします。

ランプモニタ: ランプの異常をお知らせします。
充電モニタ: 蓄電池が充電中である事、寿命をお知らせします。
リモコン受光部: リモコンの信号を受ける受光部です。

① 器具本体の自己点検スイッチを 3 秒以上押す。
または、リモコンの自己点検ボタンを押す。

② 自己点検開始

③ 定格時間 (30 分間) 後自動で通常状態に復帰

④ 点検結果は右表の器具モニタ表示で
確認ください。

- 蓄電池容量が不足している場合は定格時間 (30 分) 経過前に点検結果を表示し、通常状態に復帰します。
- 自己点検機能が動作中に、点検スイッチを押すことにより自己点検を解除することができます。

器具モニタ表示		
ランプモニタ (赤)	点灯	ランプの外れ・破損
	点滅	—
	消灯	正常
充電モニタ (緑)	点灯	正常
	点滅	蓄電池の寿命
	消灯	蓄電池が充電されていない または接続されていない
自己点検モニタ (橙)	点灯	—
	点滅	自己点検中
	消灯	—

電池の交換

適合電池
単 4 アルカリ乾電池または単 4 マンガン乾電池 (2 本)

<電池交換時>



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに
結びつく可能性があるもの

禁止	電池をショート・分解・加熱・変形させない。 また、火中に入れない。 やけどや衣類損傷の原因	禁止	充電式電池 (Ni-Cd や Ni-MH など) は使用 しない。液漏れ、破損、発熱によりけが、 故障、破裂の原因
禁止	電池の ⊕、⊖ を逆に入れて使わない。 液漏れ、破裂の原因	禁止	違う種類の電池や、新・旧電池を混ぜて使用 しない。 液漏れ、破裂の原因

乾電池は一般の不燃ごみとして処理してよいことになっていますが、自治体の条例などの定めがある場合には、その条例に従って廃棄してください。



誘導灯・非常用照明器具用リモコン

形名 **RZB02**

取扱説明書

この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

- 必ず自己点検機能付の機種でご使用ください。適合していない器具では、動作しません。

安全のために必ずお守りください

図記号の意味は次のとおりです。



絶対に行わないで
ください。



必ず指示に従い
行ってください。

乾電池の取扱い



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに
結びつく可能性があるもの

禁止	電池を分解しない。 けが、液漏れ、皮膚のただれ、化学やけど、 失明の原因	禁止	電池内部から漏れた液には触れない。 (目に入ったときは、すぐに水道水などのきれいな水 で洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。) 皮膚のただれ、化学やけど、失明の原因
禁止	電池をショート・加熱したりしない。 液漏れ、破損、発熱によりけが、故障の原因	禁止	電池を充電したり、改造しない。 液漏れ、破損、発熱によりけが、故障、破裂 の原因
禁止	電池の ⊕、⊖ を逆に入れて使わない。 液漏れ、破裂の原因	禁止	使い切った電池はすぐに機器から取り出す。 液漏れ、破裂の原因
禁止	電池を加圧したり、強い衝撃を与えない。 液漏れ、故障の原因	禁止	違う種類の電池や、新・旧電池を混ぜて使用 しない。 液漏れ、破裂の原因

仕様

項目	内容
電源	単 4 アルカリ乾電池または単 4 マンガン乾電池 (2 本)
リモコン信号仕様	信号到達距離 最大 15 m
使用温度範囲	5 ~ 35 °C
質量	55 g (本体、電池含む)

1 各部のなまえ

(1) 各ボタンの機能

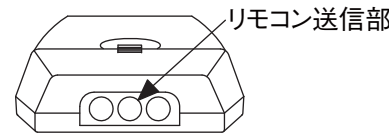
確認ボタン：自己点検可能か確認をします。

中断ボタン：自己点検を中断します。

自己点検ボタン：自己点検を開始します。

手動点検ボタン：3秒間非常点灯に切り替えます。

※点滅形(誘導音付)誘導灯の場合、誘導灯部は3秒間、点滅(誘導音)部は15秒間、非常動作に切り替えます。



確認ボタン：自己点検可能か確認をします。

中断ボタン：自己点検を中断します。

自己点検ボタン：自己点検を開始します。

手動点検ボタン：3秒間非常点灯に切り替えます。

モニタ明るくボタン：充電モニタの明るさを5秒間アップします。

付属品

- ・本誌
- ・単4マンガン乾電池 (2本)「動作確認用」(動作確認用です。寿命を保証するものではありません。)

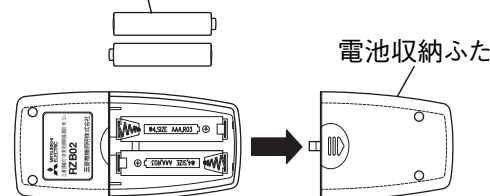
リモコンの確認ボタンを押したときの器具モニタ表示

モニタ表示	点検モニタ (橙)		ランプモニタ (赤)		充電モニタ (緑)	
点検可能な場合 (連続充電時間: 24時間以上)	●	点滅	○	消灯	●	点滅
点検不可の場合 (連続充電時間: 24時間未満)	●	点滅	●	点滅	○	消灯

電池の入れかた

電池収納ふたの▼印の位置を押しながら矢印方向にはずす。乾電池の⊕、⊖を確かめて入れる。電池収納ふたをしめる。

単4アルカリ乾電池または単4マンガン乾電池 (2本)



お願い

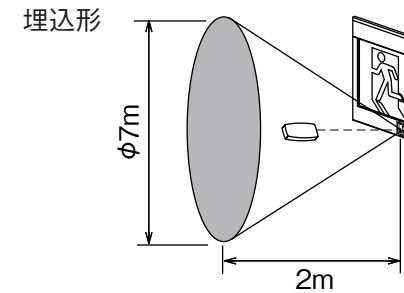
長期間使わないときは電池を抜いてください。液漏れによる故障の原因となります。

2 誘導灯の場合

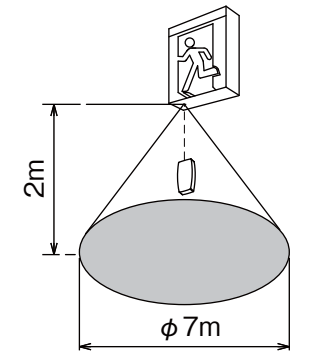
- ・24時間以上連続充電している場合でも、自己点検を実施する前に手動点検を実施すると自己点検に移行できません。(24時間以上連続充電していないとみなすため)

本体受光範囲

リモコンの操作は、点検を開始する器具の受光部に向けて行ってください。誤動作した場合は器具の真下より中断ボタンを押してください。



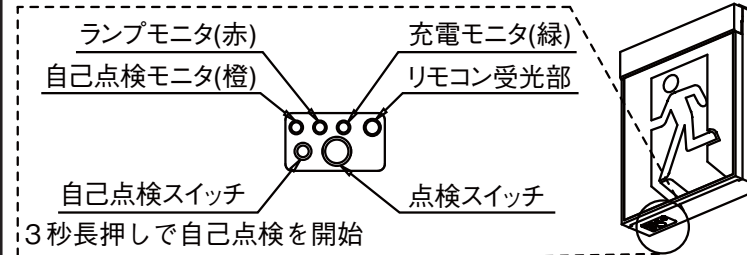
天井・壁直付形



自己点検機能の使用方法

自己点検機能を使用する前に以下の項目を確認してください。

- (1) 24時間以上連続充電をしている。(点検スイッチを押したり、停電等で電源が遮断されてしまった場合は自己点検に移行しません。)
 - (2) 充電モニタが点灯している。(蓄電池が正常に接続・充電されている。)
 - (3) ランプモニタが消灯している。(ランプが正常状態である)
- 上記項目を満足していない場合は、自己点検スイッチを操作しても自己点検機能に移行しません。



3秒長押しで自己点検を開始

自己点検スイッチ：3秒長押しで自己点検を開始します。
点検スイッチ：スイッチを押している間、非常点灯に切り替えます。

自己点検モニタ：自己点検中である事、点検可能・不可をお知らせします。

ランプモニタ：ランプの寿命、異常をお知らせします。
充電モニタ：蓄電池が充電中である事、寿命をお知らせします。

リモコン受光部：リモコンの信号を受ける受光部です。

①器具本体の自己点検スイッチを3秒以上押す。または、リモコンの自己点検ボタンを押す。

②自己点検開始

③定格時間 (20分間または60分間) 後自動で通常状態に復帰

④点検結果は右表の器具モニタ表示で確認ください。

- ・蓄電池容量が不足している場合は定格時間 (20分または60分) 経過前に点検結果を表示し、通常状態に復帰します。
- ・ランプ異常については自己点検の操作に関わらず常時検出されます。
- ・自己点検機能が動作中に、点検スイッチを押すことにより自己点検を解除することができます。

器具モニタ表示		
ランプモニタ (赤)	点灯	ランプの外れ・破損
	点滅	ランプの寿命
	消灯	正常
充電モニタ (緑)	点灯	正常
	点滅	蓄電池の寿命
自己点検モニタ (橙)	消灯	蓄電池が充電されていないまたは接続されていない
	点灯	—
	点滅	自己点検中
	消灯	—

3 非常用照明器具の場合

- ・48時間以上連続充電している場合でも、自己点検を実施する前に手動点検を実施すると自己点検に移行できません。(48時間以上連続充電していないとみなすため)

本体受光範囲

リモコンの操作は、点検を開始する器具の受光部に向けて行ってください。誤動作した場合は器具の真下より中断ボタンを押してください。

